

「都市の通信簿」と名古屋

なにかとランキングをつけるのが流行っている。岩中祥史『日本全国 都市の通信簿 主要 35 市を採点する』（2007 年、草思社）は、主要都市のランキングを魅力や観光などから検証し採点している。札幌から那覇まで、政令指定都市や県庁所在都市 35 市を対象にして、「行ってみたい度」「住んでみたい度」「刺激度」「いやされ度」「ガックリ度（訪れた際の期待はずれ度）」の指標で 5 段階評価している。都市の選び方や評価方法に主観的な面もあるが、著者の都市への評価や提言などと関連づけてみると、「都市の通信簿」として興味深いものがある。

5 つの指標のうち「ガックリ度」はマイナス点として、合計点を多い順に都市を並べると次のようになる。1 位は那覇、2 位は神戸・福岡、3 位は熊本、4 位は札幌・金沢・大阪・松山となる。最下位は千葉・さいたまであり、その上に位置するのが川崎・名古屋である。5 指標のうち「行ってみたい度」「刺激度」「ガックリ度」を集計すると、トップグループは札幌・京都・大阪・福岡・那覇である。名古屋は 5 指標のなかでも「行ってみたい度」「刺激度」「ガックリ度」の評価が悪く、千葉・さいたまと同じ最下位グループである。

35 市から政令指定都市をとり出すと、5 指標では 1 位が神戸・福岡、2 位が札幌・大阪、3 位が仙台・新潟・京都、3 指標では札幌・京都・大阪・福岡が 1 位グループである。名古屋は 3 指標では、指定都市のなかでも最下位グループとなる。名古屋は産業経済面では「元気さ」に注目が集まるが、都市の通信簿は芳しくない。他都市比較などをして、名古屋の個性と魅力をさぐり、「観光まちづくり」の課題をさぐっていきいたい。

（上記は人間文化研究所『研究年報』第 3 号に書いた原稿の冒頭部分の抜粋である）

名古屋のイメージや観光については、社会調査実習で刊行した報告書『名古屋の観光を勘考する』（2007 年 3 月）『名古屋の観光まちづくり』（2008 年 3 月）を参照のこと。なごやファン倶楽部（<http://www.ncvb.or.jp/funclub>）の「マイルポート」掲載の社会調査実習グループによる座談会記録も参考になるので紹介しておきたい。

（2008 年 4 月 29 日 記）